

# 平和が丘防災タイムズ 第7号<2011.2.12>

平和が丘学区防災・地震対策委員会

しばらく休刊していましたが「平和が丘防災タイムズ」を第7号として皆さまのお手元にお届けします。今回は年度末なので平成22年度の防災活動の報告が中心です。よろしくお願いいたします。

## ○防災・地震対策委員会——平成22年度の活動より——

当委員会は、平成15年に発足し、こんにちまで防災関係に関わる企画立案と実施、また情報・啓蒙活動等を行ってきました。今年度も毎月第1月曜日にコミセンで会議を開き防災・地震対策全般について協議し活動してきました。主な内容をまとめてお届けします。

### 1. 防災名簿（防災あんしん調査票）の作成（6月）

「防災あんしん調査票」の作成は7年目を迎え多くの方々のご理解を得て年々提出率が高くなり、今年度、学区全体の回収率は84.1%で、回収率の最も高い自治会は八前3丁目の97.6% 次いで光が丘の96.0%でした。住民の皆さま及び関係者のご努力に改めて感謝申し上げます。

各戸の個人名簿以外のことで主な内容についてまとめますと次のようです。

	報告世帯数	報告人数	希望する避難所(世帯数)					70歳以上の世帯数	要介護者(人数)
			平和丘小	東邦高	蓬莱小	その他	未回答		
計	1,831	4,794	632	807	91	24	277	496	94

配布世帯数 2,178 <1世帯人数 平均 2.62人>

希望する避難所に希望者全員が避難できるための体制づくりは今後、関係機関と協議の必要あり。なお、平成20年実施の防災アンケート調査(回収率 35.48%)のなかで非常持ち出し品について「用意してある世帯」が285、「用意していない世帯」が373でした。現在はどうでしょうか。

### 2. 防災訓練の実施

○学区全体の訓練 平成22年7月4日(日) 平和が丘小学校で実施。午前中、学区消防団と名東消防署の指導による担架や三角布の作り方などを実習。多くの方が参加されました。

午後は自治会長と防災委員合同の会議を開き、学区の防災・地震対策全般について協議しました。特に防災名簿については“いざ”という時にすぐに利用できるように整理しておくことが必要だということが強調されました。

○自治会単位の訓練 概略は次の通りで会場も自治会の判断で決め実施されました。

	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目北	4丁目南	5丁目	八前3	公住	光ヶ丘	平住日車
会場	コミセン	コミセン	東邦高	コミセン	第二公園	コミセン	コミセン	集会所	集会所	第一公園
実施日	10/3	9/12	11/14	10/24	11/21	12/5	9/5	11/20	10/24	10/24
参加者数	15	30	15	10	30	16	25	30	16	22

訓練内容は会場によって多少の違いはあったと思いますが、消防団の指導による担架の作り方や初期消火の練習等で子どもさんが参加された会場もあり和やかな雰囲気でした。自治会役員のご苦労に感謝します。しかし、参加者の少ないことが課題です。(参加者数には消防団員等を含む)

**3. 災害時の防犯についてセミナーを開催** 9月25日(土)会場コミセン約80名参加。名東警察署生活安全課小嶋氏の講演と質疑。主に阪神、淡路大震災における防犯活動を例にあげながら、災害が発生した時、警察や役所などの公的機関が直ちに救助活動を開始することは極めて難しく、まず住民自らがわが身を守ることから始めなければならないとし、いわゆる自助→共助→公助の理念が示され、地域の人々の助け合いが大切であると述べられた。

**4. 名東区避難所運営リーダー養成講座への参加**

昨年11月から今年3月にかけて4回にわたって名東区主催で区役所講堂にて実施。当学区委員会からも3名参加。仮想避難所の体験等の講座が組み入れ、現在受講中です。

☆

☆

**5. 防災活動について学区と名東区の意見交換会行われる** 12月17日(金) 会場コミセン

名東区から、各学区における自主防災活動の把握を主たる目的とした会議の要請があり、12月17日(金)午後コミセンで意見交換会が開かれました。

学区からは佐藤協議会長ら9名 名東区からは別所区長はじめ民生等の各部課長と関係主査並びに名東消防署副署長など関係機関の担当者10名が出席。

「防災あんしん調査票」などを中心に当学区の自主防災活動について説明し意見交換が行われました。避難時には民生委員との連携が必要であることも取り上げられました。

**6. 年末恒例の夜間防犯パトロール行われる**

12月25日(土)各自治会の協力を得て午後6時半より実施、50人以上の方が参加。4班編成で学区内をそれぞれパトロール。平成22年、名東区では、道路わきに集積されたゴミや駐車中の乗用車などへの放火火災が20件発生しましたが(「広報なごや」1月号より)平和が丘学区ではゼロでした。学区内の皆さんの協力と消防団活動の成果の賜物と思います。

また、12月30日(木)には学区消防団の年末特別警戒について名東消防署正副署長の激励を受けました。各自治会の代表者等も含めて約40名参加。これらの行事で湯茶等のお世話を平愛会の皆さんにして頂きました。改めてお礼申し上げます。

☆

☆

——<読者からの投稿>——

◆頭のさがる行為

平和公園でジョギングを続けているが、数年前からそのコース内でゴミを拾い集めている方を見かけるようになった。最近になって立ち止まって言葉を交わすようになった。聞けば氏は同じ学区内の方で、10年来、早朝にゴミを拾い集めているとのこと。そのお蔭で園路を気持ちよくジョギングができ、まことにありがたい。それだけゴミを散らかす不逞の輩が居るわけでモラルの欠如はなんとも嘆かわしい。

本来、公園のゴミ掃除は公園管理者の責務であるが、そこまで目が行き届かない。こういった心意気の方がいるからこそ、園内が美しく保たれている。公園は皆の共有財産であり、気持ちよく利用したいものだ。

平成22年12月 k.k記

<あとがき>紙面を親しみやすく、また皆さんの意見交換の場として活用できればと思い、建設的な投稿をお待ちします。原稿は防災・地震対策委員会まで(コミセン窓口へ)。<編集担当 高木豊孝>